



1. 団体概要

申請日 2025年 10 月 27 日

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジンスターズアーツ					法人格 あり:「1」と記入 なし:「2」と記入	
団体名	特定非営利活動法人スターズアーツ					1	
所在地	〒 1070061	(フリガナ)	トウキョウトミナトクキタアオヤマ1-6-1-118				
	東京都港区北青山1-6-1-118						
	TEL	354138055		FAX			
団体URL	① https://starsarts.or.jp/		②				
(フリガナ)	モトミヤユキオ				役職名		
代表者名	本宮透雄				理事長		
連絡先 担当者	(フリガナ)	タカオカカズヒロ			電話	354138055	
	氏名	高岡和宏			日中 連絡先 携帯	804635529	
	住所	〒 1070061	(フリガナ)	トウキョウトミナトクキタアオヤマ1-6-1-118		E-mail	
	東京都港区北青山1-6-1-118						
団体設立日(予定日)	西暦	2011 年 4 月 日		法人格取得日(予定日)	西暦	2022 年 8 月 2 日	
団体の活動目的	2011年3月東日本大震災によって失われたものが風化し時間と共に歴史と言う記録に刻まれてしまうのを見逃さず今後の自然災害の際に教訓として活かせるよう残された記録をアートの力を利用して発信し、次世代を担う人達に、自然災害から学ぶ危機管理と防災道徳や予防、継承させることを活動の目的とする団体です						
活動内容・活動実績 または活動開始の経緯 (概ね過去1年まで)	歴史上で起きた自然災害の被災証言を通して防災道徳に結びつけた語りの舞台化を企画構成し開催(文化庁後援) この1年の主な活動としては、毎月「防災シンポジウム・意見交換会」を企画、毎月ゲストを迎え一般の方々との交流を開始 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」にスターズアーツの活動「被災証言 東北民話 公演での朗読動画」がコンテンツとして正式に採用され 国立国会図書館アーカイブの中で公開・発信され防災コンテンツ、南海トラフ首都圏直下型地震の防災道徳コンテンツとして活用され始めたところです						
団体の構成員数 (利用者は除く)	会員	61 人		その他の会員	0 人	他の構成員	0 人
これまでの受賞履歴	表彰名				受賞年		
	国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」に防災教育コ				2025年7月		
コープみらい 地域クラブ名					コード		
コープみらいの地域クラブに登録している場合は上に記入してください。 ※地域クラブとは、コープみらい組合員及び、地域の方どうしがつながり、継続的なグループ活動を通じて、人と人とがつながり、コープとつながり、くらしに関わるニーズを実現する組織です。							

2. 応募する事業について

事業・活動名	障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク（避難救済支援）		番号を記入		
			1. 新規事業 2. 実施中の事業	1	
主な事業実施場所	事業を実施する、地域・区市町村を記入		特定の施設で実施している場合は施設名を記入		
	東京都 港区 を中心に 北側は千代田区・中央区・新宿区、西側は渋谷区、南隣は品川区		港区（登記住所）の公共施設や区役所研修室		
事業で取り組む分野 （3つまで） 団体の取り組み分野ではありません	2. 消費者の権利 3. 福祉、健康 4. 子ども・子育て		3つまで番号を記入		
	5. 次世代支援 6. 教育、文化、スポーツ 7. 環境保全 8. 人権、平和、国際協力・交流 9. 防犯・防災・減災、災害復興支援		9	6	5
事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>近々で起こりうる自然災害（首都圏直下型・南海トラフ沖地震含む）が発生時、障害当事者（重度身体・精神的）や高齢者（独居）の避難救済支援方法が定められていないことで「私たちの場合はどうしたらいいのか?」「行政や地域からどのような支援や救済があるのか?」など殆どの障害当事者や家族・関係者、年々急激に増えていっている高齢者の不安や心配は絶えることなく災害が起こった場合の不安で心配な日々を過ごしている</p>				
事業の目的	<p>孤立してしまう障害当事者や年々増加の一方の高齢者 誰一人取り残さない発災時の防災救済ネットワークの構築を目的とし、防災避難対策や方法や手段を日頃から話し合い助けを求められる機会の創出・防災減災知識の取得や心構え・意識や知識の更なる向上のシンポジウム開催で不安解消と災害時に実施し救済する事を目的とする</p>				
事業内容	<p>活動名 障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク（避難救済支援） 趣旨 重度身体障害当事者や精神的障害当事者・独居高齢者やその家族、関係者に対する社会的孤立の予防と解消と避難防災対策と対応の構築への取組 時期と開催回数 2026年4月～7月 広報と準備 毎月第四土曜日 実際の避難所での体験会と移動支援付き避難訓練 年10回開催 対象者 東京都港区・千代田区・中央区・渋谷区・品川区にお住いの障害当事者や高齢者 その家族や関係者 参加人数（見込み） 1回50名・10回開催 500名 実施場所 港区公共施設や区役所研修室 広報など宣伝周知の方法 各種SNS 公式HP PRタイムス チラシ投函 団体内の実施体制 会員・理事よりコアメンバー10名 学生ボランティア30名 有志（有資格者）20名 計70名体制 外部協力・団体 防災を唱える個人は多く、法人登記した活動組織は非常に少ない 多岐にわたり協業を呼びかける予定 学生ボランティア 福祉医療系の学校、医療福祉用具メーカーへの呼びかけを予定</p>				
事業の成果目標	<p>港区 を中心に 北側は千代田区・中央区・新宿区、西側は渋谷区、南隣は品川区にお住まいの重度障害当事者（身体・知的）や独居高齢者に対し、近隣づきあいのキッカケ作り、「助けて」などと言える環境づくりと仲間づくりなどを実現していきたい</p>				
助成の必要性	<p>他企業からの理解や応援を受けて「事業」と印象付けたいのと、無償事業で入金などを見込んでいない分 法人からの持ち出し（支出）を少しでも軽減させたい</p>				
助成終了後の事業の展望	<p>この実施一年間で色々な事例や要望など様々な角度からの重要なデータと必要事項が把握できると考え 有償事業として適正価格を見だし行政（区役所・防災課・高齢福祉課）と相談しながら 有償事業に切り替えていこうと考えています</p>				
コープみらいと一緒にできそうなこと	<p>災害時 避難所での お水や食事（お弁当） 長期保存食 などの研究や案内</p>				

3. 応募事業への他団体からの助成について

これまでの助成・補助金受領履歴	他の企業や行政からの助成金・補助金など（過去2年以内）		年度（西暦）	金額
	ARTSforthefuture 2（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）		2022 年	2,800,000 円
	文化芸術コンテンツ・スポーツ産業の海外展開促進事業費補助金JLOX		2023 年	2,500,000 円
	サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金 IT補助金		2024 年	2,800,000 円
次年度（2026年度）応募事業への助成・補助金申請	他の企業や行政からの助成金・補助金など		状況（番号を記入） 1. 決定 2. 応募中 3. 応募予定	金額
	都内草の根助成		2	500,000 円
				円
				円

4. 事業の実施スケジュール

（助成対象期間2026年4月1日～2027年3月31日）

年 月	具体的な内容
2026年4月	広報活動（各SNS・チラシ・広告媒体・他）開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 有志メンバー募集 障害当事者（重度身体・精神的）や高齢者（独居）交流会・防災シンポジウムの開催
2026年5月	広報活動（各SNS・チラシ・広告媒体・他）開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 PRタイムス掲載1回目 障害当事者（重度身体・精神的）や高齢者（独居）交流会・防災シンポジウムの開催
2026年6月	広報活動（各SNS・チラシ・広告媒体・他）開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 PRタイムス掲載2回目 障害当事者（重度身体・精神的）や高齢者（独居）交流会・防災シンポジウムの開催
2026年7月	広報活動（各SNS・チラシ・広告媒体・他）開催趣旨や実施イメージのプレゼン・宣伝・案内 移動支援ボランティア募集 各ボランティア団体・産学連携（福祉大学との連携締結）での専門員参加誘致と募集
2026年8月	第一回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 8/30開催 非常食の試食会 備蓄品の試飲や試食会 咀嚼流動食（特別食）などの紹介 非常食メーカーサンプル提供
2026年9月	第二回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 9/27開催 階段昇降機 重度身障者向け福祉用具設備の紹介や試乗・お試し 段差解消スロープ 福祉用具メーカー提供
2026年10月	第三回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 10/25開催 第一回実際の体育館を借りて避難体験会（1泊）複数グループにて簡易トイレ多目的タイプ組み立て・利用体験
2026年11月	第四回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 11/22開催 第二回実際の体育館を借りて避難体験会（1泊）複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会（学生・社会人ボランティア参加）
2026年12月	第五回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 12/20開催 第三回実際の体育館を借りて避難体験会（1泊）複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会（学生・社会人ボランティア参加）
2027年1月	第六回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 1/24開催 第四回実際の体育館を借りて避難体験会（1泊）複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会（学生・社会人ボランティア参加）
2027年2月	第七回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 2/28開催 第五回実際の体育館を借りて避難体験会（1泊）複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会（学生・社会人ボランティア参加）
2027年3月	第八回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 3/28開催 第六回実際の体育館を借りて避難体験会（1泊）複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会（学生・社会人ボランティア参加）
2027年4月	第九回 重度身体障害者・精神的・独居高齢者を専門対象とした防災ネットワーク（発災時の避難支援と救済手段と方法の構築）相談会/交流会 4/25開催 第七回実際の体育館を借りて避難体験会（1泊）複数グループにて自宅から避難所までの移動支援体験会（学生・社会人ボランティア参加）

5. 本助成金が受けられなかったときの対応

基本的にリスク・時期とタイミングを再検討しようと思います

6. 応募事業の予算書

希望助成金額	196,000 円
--------	-----------

Aの金額を記入してください。
上限は20万円です。

①支出の部

助成金活用支出	項目	支出金額	内 訳
	使用料及び賃借料 (機材レンタル)	36,000	12回分 1回3,000円 段差解消スロープ、フラット板、拡声機(マイク・スピーカー他)、特殊ジャッキ工具 3,000円×12回
	旅費交通費(ボランティア・医療有志)	80,000	8回分 ボランティア1回5,000円 1,000円×5名×8回 40,000円 と8回分 医療有志1回5,000円 1,000円×5名×8回 40,000円(計80名) 有志参加交通費
	食糧費(ボランティア・医療有志)	80,000	8回分 ボランティア1回5,000円 1,000円×5名分×8回 40,000円 と8回分 医療有志1回5,000円 1,000円×5名分×8回 40,000円(計80個) 有志参加お弁当
助成金活用 支出計A	196,000		

応募事業のその他の支出	項目	支出金額	内 訳
	委託料 看護師諸謝 (イベント看護)	240,000	看護師派遣・現場立ち合い 8回分
	委託料 医師諸謝 (イベント看護)	400,000	医師派遣・現場立ち合い 8回分
	消耗品(養生・文具・用紙 他)	60,000	12回分 1回5,000円 養生 コピー用紙 文具 他
	通信・運搬費(切手・郵便代)	36,000	12回分 1回3,000円 切手郵便代
その他の 支出合計B	736,000		
応募事業の 支出総合計C	932,000	AとBの合計	

②収入の部

項目	収入額
コープみらい・くらしと地域づくり助成金(Aの金額を記入してください)	196,000
他からの助成金、補助金合計 (応募中、応募予定も含む)	500,000
食事代・参加費・物品販売収入合計	110,000
自己資金	150,000
収入合計D	956,000

応募事業の剰余 D-C	24,000	剰余がマイナスの場合は、下の欄に補填方法を記入してください

2026年度コープみらい・くらしと地域づくり助成 応募書類、付属資料一覧 兼 提出時のチェックリスト

提出書類		提出対象団体		送付					
				該当に1を記入					
				E-mail	郵送	無し			
応募書類	1	「コープみらい・くらしと地域づくり助成」応募用紙（所定書式）		全団体		1		<p>・Excelの形式のままE-mailに添付してお送りください。 または印刷して付属資料と一緒に送ってください。</p> <p>1. E-mailの場合 付属資料はPDF、写真はjpegの形式でE-mailに添付してお送りください。 ※何通かのE-mailに分かれても結構です。</p> <p>2. 郵送の場合 現物、あるいはコピーをお送りください。 ※お送りいただいた書類はお返しできませんので、送付前に必ずコピーをお取りください。</p>	
	付属資料	3	5万円以上の備品の見積書		該当団体				1
		4	定款、会則等の規程、団体の組織や運営について定めたもの（書式は問いません）		全団体		1		
		5	会員名簿、役員名簿など、5人以上の氏名・役職・住所（市区町村まで）が入った名簿		全団体		1		
		6	団体の収支決算	昨年度（2024年度）の収支決算書	昨年度（2024年度）活動団体		1		
				当年度（2025年度）の予算書	全団体				1
		7	申請事業の収支決算「6. 団体の収支決算」と同じ場合は提出不要です	昨年度（2024年度）の収支決算書	昨年度（2024年度）活動団体				1
				当年度（2025年度）の予算書	該当団体				1
		8	団体の活動内容のわかる資料（会報・パンフレットなど）A4またはB4サイズ2枚まで。最新版のみ（CD、動画等のご遠慮ください）		全団体		1		
		9	助成応募事業の実施状況がわかる資料	募集チラシ、開催報告などA4またはB4サイズ2枚まで	応募事業を実施している団体				1
写真（可能ならば資料添付をお願いします。活動の様子全体が分かるもので2枚程度）	応募事業を実施している団体					1			

以下はアンケートです。選考には関わらないものです。
今後の参考にさせていただきますので、ご協力お願いいたします。

この助成は何を見て知りましたか

↓ 当てはまる番号の前に「1」を記入してください。（いくつでも）	
1	①知人（コープみらい組合員含む）からの紹介
1	②コープみらい財団のウェブサイト（ホームページ）
	③コープみらい千葉県本部・埼玉県本部・東京都本部のいずれかからのご案内
	④インフォメーション（コープみらい都県本部発行の情報紙）
	⑤市民活動の情報が掲載されているウェブサイト（ホームページ）
1	⑥行政の窓口、地域の支援センター等
	⑦SNSの情報
	⑧その他 具体的に記入してください（ ）
「1」で⑤⑦をチェックした方へ 差し支えなければ、お知りになったウェブサイト、情報誌、SNS等の名称をご記入願います。	

ご協力ありがとうございました。



